

ドイツにおけるイタリア簿記の再生

— Gamersfelder, Sebastian 1570年 —

土 方 久

「複式簿記」については、世界に現存する最初の印刷本『算術・幾何・比および比例全書』¹⁾が、1494年にPacioli, Lucaによって出版されてから、これに遅れること約4半世紀、ドイツでは最初の印刷本『新しい技術書』²⁾が、1518年にGrammateus, Henricusによって出版される。この印刷本の1編「商人の仕訳帳、商品帳および金銭帳による簿記」に、「ドイツ固有の簿記」が解説されたのである。さらに遅れること4半世紀にかけて、1531年、1546年にGottlieb, Johannによって出版された印刷本『ドイツの明解な簿記』³⁾、『簿記、二様の精巧かつ明解な簿記』⁴⁾にも、また、この間に、1537年にvon

1) Pacioli, Luca; *Summa de Arithmetica Geometrica Proportioni et Proportionalita*, Venezia 1494.

参照、拙稿；「イタリア簿記の原型」、『商学論集』（西南学院大学），51巻2号，2004年9月，1頁以降，『商学論集』（西南学院大学），51巻3・4号，2005年2月，1頁以降。Pacioli, Lucaについては、姓と名を表記する場合に、「パチョーリ家のルカ」というように、複数形のPacioliを使用して、姓のみを使用する場合には、単数形のPacioloを使用する。

参照、小島男佐夫著；『簿記史』，森山書店 1973年，序3頁。

参照、中野常男著；『会計理論生成史』，中央経済社 1992年，30頁。

2) Grammateus, Henricus; *Ayn new kunstlich Buech* …, Erfurt 1518.

参照、拙稿；「ドイツ固有の簿記の成立」、『商学論集』（西南学院大学），48巻2号，2001年10月，1頁以降。

3) Gottlieb, Johann; *Ein Teutsche verständig Buchhalten* …, Nürnberg 1531.

参照、拙稿；「ドイツ固有の簿記の展開」、『商学論集』（西南学院大学），48巻3・4号，2002年2月，1頁以降。

4) Gottlieb, Johann; *Buchhalten, Zwey künstliche unnd verständige Buchhalten* …, Nürnberg 1546.

参照、拙稿；「ドイツ固有の簿記の発展」、『商学論集』（西南学院大学），49巻1号，2002年6月，1頁以降，『商学論集』（西南学院大学），49巻2号，2002年9月，1頁以降。

Ellenbogen, Erhartによって出版された印刷本『プロシアの貨幣単位と重量単位に拠る簿記』⁵⁾にも、ドイツ固有の簿記は解説されたのである。

これに対して、Pacioloによって出版される印刷本を原型とする「イタリア簿記」がドイツに移入されるのは、Pacioloによって出版されてから約半世紀も後の1549年のことである。Schweicker, Wolfgangによって出版される印刷本『複式簿記』⁶⁾、まさに標題自体が正鵠を得る印刷本によってである。

事実、Penndorf, Balduinは表現する。「これまでの著作にイタリア人が影響を与えたにしても、わずかであるか、全く影響を与えてはいない。しかし、わずか数年後の1549年には、Pacioloの論文を完全に模範とする著作が出版される。Schweickerの著作『複式簿記』が、それである」。しかも、「Kheil, Carl Peterが、この著作を詳細に論評して指摘したのは、この著作がイタリア人に依拠するということである⁷⁾。Pacioloの論文は、1534年にManzoni, Domenicoによって模倣される。Schweickerは、これまた、このManzoniの著作を完全に固持する」⁸⁾と。

ここに、「Manzoniの著作」とは、1540年に出版される印刷本、これまた、まさに標題自体が正鵠を得る印刷本『複式簿記』⁹⁾である。Penndorfが表現する出版年とは相違することについては、Yamey, Basil Seligは表現する。「初版は、時々、1534年であると説明されることもあるが、そのような著作の原本、写本はない。Besta, Fabioは、この著作が1540年に出版されたものと断言するだけ

5) von Ellenbogen, Erhart; *Buchhalten auff preussische münztze und gewicht* …; Wittenberg 1537.

参照、拙稿；「ドイツ固有の簿記の展開」、『商学論集』(西南学院大学)、49巻1号、2002年6月、91頁以降、『商学論集』(西南学院大学)、49巻2号、2002年9月、51頁以降。

6) Schweicker, Wolfgang; *Zwifach Buchhalten* …; Nürnberg 1549.

参照、拙稿；「ドイツ簿記とイタリア簿記の交渉」、『商学論集』(西南学院大学)、50巻3号、2003年12月、1頁以降、『商学論集』(西南学院大学)、50巻4号、2004年2月、1頁以降、『商学論集』(西南学院大学)、51巻1号、2004年7月、1頁以降。

7) Vgl., Kheil, Carl Peter; *Buchhaltungs-Tractates von Luca Pacioli*, Prag 1896, S. 75ff.

8) Penndorf, Balduin; *Geschichte der Buchhaltung in Deutschland*, Leipzig 1913, S. 125.

9) Manzoni, Domenico; *QVADERNO DOPPIO* …; Venezia 1540.

の確固たる理由を提示する¹⁰⁾」¹¹⁾と。

したがって、出版年は1540年であるとして、ドイツに移入されるイタリア簿記の原型になったのは、正確には、Pacioloによって出版される印刷本だけではなく、これを模範とするManzoniによって出版される印刷本である。イタリア簿記としてドイツに移入されるのである。

しかし、このSchweickerによって出版される印刷本は、いやしくも教科書。教科書であるにもかかわらず、誤謬があまりに多いのに加えて、残高勘定が強引に締切られたことを想起してもらいたい¹²⁾。

特に不可解であるのは、借方の面と貸方の面を均衡しては締切られるが、スムーズに締切られないことである。残高勘定に振替えられただけでは、借方の面と貸方の面の合計は一致しないのに、強引に均衡して締切られる。残高勘定の借方の面には、損益勘定に計算されるはずもない「純利益」を追加、記録することによって、借方の面と貸方の面を均衡して締切られるのである。

本来、帳簿の見開きの左右対照に、日々の取引事象の金額、同額が記録して転記されるので、常時、帳簿の見開きの左側、借方の面に記録される合計と右側、貸方に記録される合計が一致するという「貸借平均原理」が保証されるはずである。貸借平均原理が保証されるかぎりでは、残高勘定に振替えられただけでも、借方の面と貸方の面の合計は一致するはずである。したがって、借方の面と貸方の面の合計が一致しないとしたら、帳簿記録の過誤、帳簿締切の過誤があるものと判断しなければならない。そうであるにもかかわらず、帳簿記録の過誤、帳簿締切の過誤が探索して訂正されるどころか、改めて残高勘定に、純利益が計算されて、翌期に繰越されては、資本金残高に加算されるとなると、まさに致命的である。残高勘定が強引に均衡して締切られることには困惑

10) Cf., Besta, Fabio; *La Ragioneria*, Vol. 3, Milan 1929, p. 389.

11) Baywater Michael F. & Yamey, Basil Selig; *Historic Accounting Literature: a companion guide*, London 1982, p. 41.

12) Vgl., Schweicker, Wolfgang; *a. a. O.*, Bl. 26 (Hauptpuch).

なお、「元帳」に打たれた丁数を使用して、26Blattの両側の面と表現する。

参照、拙稿；「ドイツ簿記とイタリア簿記の交渉」、『商学論集』（西南学院大学）、51巻1号、2004年7月、44頁以降。

させられるのである。

したがって、強引に均衡して締切られる残高勘定を眼前にしては、Schweicker自身の功績は減殺されてしまうばかりか、イタリア簿記がドイツに紹介されただけで、改訂することを迫られる印刷本の烙印すら押されかねない。

事実、Penndorfは表現する。「Schweickerは、自らの著作によって、PacioloとManzoniの学説をドイツに紹介したことで決定的な功績を得ている。彼が盲従的に模倣するのではなく、自らの改訂を創造したとするなら、彼の著作は、もちろん、非常に価値あるものになったであろう。しかし、残念ながら、彼の転用には、あまりにも誤謬が多くて、彼の事例を検算したKeilは、(企業の)決算時に全く相違する結論に到達するので、彼の著作には、『ドイツの良心、誠実』が欠如することに困惑させられる。しかし、Schweickerは、彼の後継者が再構築しうるような著作を創造したことでは強調されても、強調しすぎることはない¹³⁾と。

これに対して、イタリア簿記がドイツに移入される、この印刷本が出版されてから、これに遅れること約4半世紀、1570年にGamersfelder, Sebastianによって印刷本『イタリアの技法に拠る二様の帳簿での簿記』(„*Buchhalten Durch zwey Bücher nach Italianischer Art vnd Weise* ···“, Danzig.)が出版される。この標題『イタリアの技法に拠る···』から想像するに、イタリア簿記としてドイツに展開されるのである。したがって、Penndorfが表現するように、「Schweickerは、彼の後継者が再構築しうるような著作を創造したことでは」、Gamersfelderこそは「彼の後継者」、「再構築しうるような著作を創造した」ことになるのではなかろうか。Gamersfelderによって出版される、この印刷本には、誤謬がほとんどないのに加えて、残高勘定は借方の面と貸方の面を均衡して、スムーズに締切られるからである。Penndorf自身、「Gamersfelderの著作が褒め称えられる賞賛については、本書を徹底して熟読した後に確信するところでもあるが、『ドイツで最初の有用な簿記の著作』で

13) Penndorf, Balduin; a. a. O., S. 132. 括弧内および二重括弧は筆者。

あることこそは賛同されうる」¹⁴⁾と表現して、Gamersfelderによって出版される印刷本が高く評価されるのは、まさに「ドイツの良心、誠実」を取り戻して、イタリア簿記がドイツに再生される印刷本として評価されるからにちがいない。

しかし、ドイツに再生されることによって、イタリア簿記は、どのように展開されたか、どのように発展されたか、それでは、ドイツに展開されて発展されるイタリア簿記が、今日の複式簿記に、どのような影響を与えたかとなると、全く解明されてはいない。

たとえば、Gamersfelderによって出版される印刷本では、帳簿記録について、「三様の規則」(Drey Regeln)¹⁵⁾が列挙される。どのように日々の取引事象を「借方(債務者)」と「貸方(債権者)」に分解して記録するか、二重記録するための三様の規則に整理されるのである。しかも、以後、ドイツに出版される印刷本には踏襲されることになる。さらに、帳簿締切については、勘定の余白がなくなって、新しい勘定に振替えられる場合を除いては、実際に勘定が締切られるのは、企業の「決算時」。商品が完売されて、X商品、Y商品に区別する商品勘定が締切られる場合でも、企業の決算前に、都度、実際に勘定が締切られることはない。帳簿全体が更新されるために、新しい帳簿に振替えられて、翌期に繰越される場合と同様に、企業の決算時に、実際に勘定が締切られるのである。しかも、これまた、以後、ドイツに出版される印刷本には踏襲されることになる。したがって、イタリア簿記はドイツに再生されるばかりか、Gamersfelderによって大いに展開されたのではなかろうか。

そこで、複式簿記としては、ドイツに再生されることによって、イタリア簿記は、はたして展開されたか、展開されたのはどこかについて、1570年にGamersfelderによって出版される印刷本『イタリアの技法に拠る二様の帳簿での簿記』を解明して、筆者なりの卑見を披瀝することにした。

14) Penndorf, Balduin; *a. a. O.*, S. 145. 二重括弧は筆者。

15) Vgl., Gamersfelder, Sebastian; *Buchhalten Durch zwey Bücher nach Italianischer Art vnd Weise* ···, Danzig 1570, Bl. 3L.

なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、表紙の裏側から打った丁数、3Blattの左側の面Linkeと表現する。

1. 帳簿記録

まずは、帳簿記録についてである。企業の開始時には、「財産目録」(Inventario / Inventarium) が作成されねばならない。現金によって出資されるだけでなく、現物によって出資されることもあるからである。債権が持込まれるだけでなく、債務が持込まれることもあるからである。したがって、財産を管理するために、企業の開始時に出資される現金、現物、債権、債務の記録される「財産目録」が作成されねばならないのである。

しかし、財産目録については、Gamersfelder自身、例示することはない。Gamersfelderは表現するだけである。「自己の商業を開始する場合には、自己の商業に必要となるもの、すべてを記録するために、『財産目録』を作成する。正規には、まずは、自己の現金はどれくらいか、自己の保有する商品はどれくらいか、どのような商品であるかを記録する。自己に負っている債務者(債権)は誰か、特に債務者(債権)が負っているのはどれだけか、返済されねばならないのは何時であるかも記録する。また、自己が負っている債権者(債務)は誰であるかも記録する。それから、財産目録は、自己の資本金(Capital oder Hauptgut)を記録する」¹⁶⁾と。

したがって、このように表現するかぎりでは、「開始資本」が記録されるようである。しかし、実際には、現金、商品、債権、債務ごとに、資本金が相手勘定として記録されるにすぎないので、「開始資本」が計算されることはない。「単純取引」として記録されるだけで、「複合取引」として記録されることはないからである。

もちろん、「財産目録」はただの紙片にすぎないのに対して、企業の開始時と開始後には、「仕訳帳」と「元帳」の帳簿、したがって、二様の帳簿こそが作成されねばならないはずである。Gamersfelderは表現する。「正規の簿記には、二様の帳簿、『仕訳帳』(Jornal)と『元帳』(Hauptbuch)が必要になる。

16) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 4R. 二重括弧および括弧内は筆者。

なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、表紙の裏側から打った丁数、4 Blattの右側の面Rechteと表現する。

この帳簿以外に、三様の帳簿が必要になる。『日記帳』(Memorial)、『書簡控え帳』(Brieffbuch)と『諸掛り経費小帳』(Vnkostbüchlein)が、それである¹⁷⁾と。

したがって、どの勘定に記録するか、いくらで記録するか、「二重記録」のために日々の取引事象を分解する「仕訳帳」。さらに、それぞれの勘定に転記する「元帳」。企業の開始時、企業の開始後に、このような「二様の帳簿」が作成されねばならないのである。

しかも、それだけではない。財産目録と同様に、Gamersfelder自身、例示することはないのだが、さらに、「日記帳」はもちろん、「書簡控え帳」と「諸掛り経費小帳」が作成されねばならないのである。Gamersfelderは表現する。「『書簡控え帳』には、受取ったか、手渡されたか、送付された重要な書簡、書類が控えとして書留められる。『諸掛り経費小帳』が必要になるのは、商品には大小の、あらゆる種類の貨幣が支出されることから、信頼しうる帳簿である仕訳帳と元帳に即座に記録するのに煩雑になったり、余白がないほどに書込まれてしまうのは適当でないので、諸掛り経費小帳に記録するのが好ましいからである。取引番号145に例示するように、随時、支出の合計を算出した場合に、仕訳帳と元帳に記録するのがよいからである。取引番号61と77に例示するように、商品に直接に記録されるにもかかわらず、元帳と仕訳帳には、諸掛り経費が混在しないようにしておいて、事後、それぞれの商品に賦課しようというわけである。『日記帳』は、まずは、何を取引したか、何を行ったかを記録して、それから、順次、『借方(債務者)』と『貸方(債権者)』として仕訳帳に移記するために備付けられる。急いで記録するようなことをして、何かを見落としたりしないように、そうすることによって、仕訳帳と元帳が間違えられないように備付けられるのである¹⁷⁾と。

したがって、Gamersfelderによって出版される印刷本の標題『…二様の帳簿を持つ簿記』から想像するに、「仕訳帳」と「元帳」こそは主要な帳簿であ

17) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 2R. 二重括弧および括弧内は筆者。

なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、表紙の裏側から打った丁数、2 Blattの右側の面Rechteと表現する。

るにちがいない。これに対して、そのような「三様の帳簿」は補助的な帳簿でしかないのではなかろうか。図1を参照。

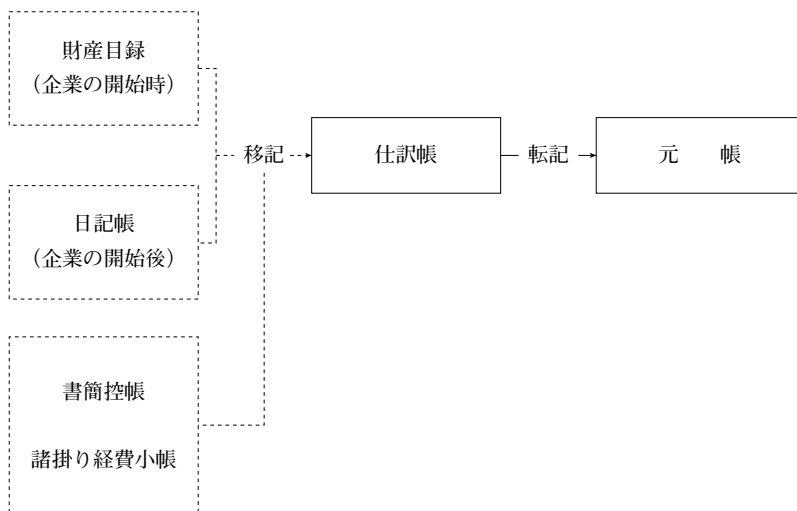


図1

事実、企業の開始後に、「日記帳」には、日々の取引事象のメモ書きとして、暦順的、特に叙述的に、文章で記録して、常時、「何を取引きしたか、何を行ったかを記録して、仕訳帳に移記するために備付けられる」が、場合によっては、直接に仕訳帳に記録されることもある。「書簡控え帳」には、随時、「重要な書簡、書類が控えとして書留められる」にすぎない。取引事象の移記される仕訳帳、さらに、取引事象の転記される元帳に対する証拠書類として記録しておかれるのではなかろうか。さらに、「諸掛り経費小帳」にしても同様。「信頼しうる帳簿である仕訳帳と元帳に即座に記録するのに煩雑になったり、余白がないほどに書込まれてしまうのは適当でないので」、随時、諸掛り経費のメモ書きとして記録しておかれるにすぎない。

本来、諸掛り経費については、Gamersfelder自身、取引番号61と77に例示す

るように、商品に加算されたものである¹⁸⁾。多種の商品に関係する場合には、X商品、Y商品に按分されたものである¹⁸⁾。しかし、「商品には大小の、あらゆる種類の貨幣が支出されることから」、さらに、少額の諸掛り経費でしかないなら、いちいち商品に加算されるのは煩雑である。しかも、X商品、Y商品に按分されるとなると、なおさら煩雑である。そのためにこそ、Gamersfelder自身、取引番号145に例示するように、随時、「諸掛り経費小帳」に記録しておかれて、企業の決算時、「決算日」に仕訳帳に移記して、元帳に転記されるのである。

なお、取引番号61と77および取引番号145について、Gamersfelderの例示する「仕訳帳」の丁数4と丁数6および丁数12、さらに、「元帳」の丁数18の「諸掛り経費勘定」を原文と共に表示することにする¹⁹⁾。図2および図3を参照。

18) 参照、拙稿；「ドイツ固有の簿記の発展」、『商学論集』(西南学院大学)、49巻1号、2002年6月、18/19頁。

19) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 4R/6R/12L (Jornal)/Bl. 18 (Hauptbuch).
なお、「仕訳帳」に打たれた丁数を使用して、4 Blattの右側の面Rechte, 6 Blattの右側の面Rechte, 12 Blattの左側の面Linke, 「元帳」に打たれた丁数を使用して、18 Blattの両側の面と表現する。

仕訳帳 諸掛り経費

取引番号 と元丁	6月26日	丁数4 (右側の面)		
61 $\frac{2}{1}$	ライ麦は借方。 貸方 現金。40ラストに対して、 以下のように支払った。 運送税 単価 5 gr. fl 6 .gr20. 運送代 単価 4 gr. fl 5 .gr10. 計量代 単価 1 gr. fl 1 .gr10. 両替料 単価 4 gr. fl 5 .gr10. 手数料 単価 1 gr. fl 1 .gr10. 筵席, 2帖 単価29gr. fl 1 .gr28.			
	計	fl 21	gr 28	d —

	Abi 26 Ditto.			
61 $\frac{2}{1}$	Roggen sol An Cassa/ vngetzelt auff 40 Last wie folgt: Pfundzol von der Last 5 gshut — fl 6 g 20 R — Traasohn ab — — — 4 gshut — fl 5 g 10 R — Wasserlohn ab — — — 1 gshut — fl 1 g 10 R — Durdings gelt — — — 4 gshut — fl 5 g 10 R — Primali — — — — 1 gshut — fl 1 g 10 R — Für Watten 2 bußin 29 gshut — fl 1 g 28 R/ thut alles — fl — 2 1 g 2 8 R —			
	② in			

取引番号 と元丁	8月5日	丁数6 (右側の面)		
77 $\frac{11}{1}$	小麦は借方。 貸方は現金。私は40ラストに対して、 船ごとの諸掛り経費を支払った。	fl 32	gr —	d —

	Abi 5 Auasfi.			
77 $\frac{11}{1}$	Wegere sol An Cassa/ habich gelt auff 40 Last allerley vnterjen biß ins Schiff/ — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	fl —	3 2 g —	R —

取引番号 と元丁	12月30日		丁数12 (左側の面)		
145 <u>18</u> <u>17</u>	諸掛り経費は借方。 貸方は現金。私は諸掛り経費 小帳に見出す。多種の貨幣を支出した。				
	私の商業のための諸掛り経費	f183.gr15.d9.			
	私の家計のための諸掛り経費	f1315.gr20.d12.			
	計		f1 399	gr 6	d 3

145 ¹⁸/₁₇ Unloft fol || An Cassa/ befinde ich in meinem unloftbüchlein/ ich mehrerer
 sey ungelte ausgehen habe/ Als:

Unloft von wegen meines handels R 83 59 15 2 9/

Unloft für mein Haus / — — R 315 59 20 8 12/

macht zusammen — — — — — R 399 59 6 3

Ende des Journals.

図 2

元 帳 諸掛り経費勘定

				元丁18			
諸掛り経費は借方。 12月20日。貸方 現金。 私は多種の貨幣を支出した。 私の商業のために、 fl83.gr15.d9。 私の家計のために、 fl315.gr20.d12。 元丁17	fl	399	gr	6	d	3	
諸掛り経費は貸方。 12月30日。借方 損益。 元丁6	fl	399	gr	6	d	3	

Unten ist der 30 Decbris An Cassa/ Ich merckungelt aus gegeben
 habe von wegen meines handels fl 83 gr 15 d 9.
 Unten für mein Haus — fl 315 gr 20 d 12/ thut — acq 17 fl 399 gr 6 d 3

Unloß sol haben Ab: 30 Decembrio Für Gewinn und Verluß -- act 611-3993-683

図 3

そこで、「仕訳帳」についてである。企業の開始時に、財産目録から移記される。企業の開始後には、さらに、日記帳から移記される。「二重記録」のために日々の取引事象を分解して、仕訳帳に移記されるのである。Gamersfelder は表現する。「仕訳帳には、『借方（債務者）』（Schuldner）および『貸方（債権者）』（Glaubiger）として記録する。間違った『借方（債務者）』、間違った『貸方（債権者）』を記録しないように、まずは、何が『借方（債務者）』か、何が『貸方（債権者）』か学習されねばならない。『借方（債務者）』は周知の名辞（Name）。誰かに何かを負っている人（einer / der einem andern schuldig ist）を意味する。同様に、『貸方（債権者）』は、これまた周知の名辞。彼の債務者から持つべき人（einer / der von seinem Schuldiger haben sol）を意味する。したがって、借方（債務者）は、彼が再び弁済しなければならない何かを誰かから、彼が受取る場合に、借方（債務者）になる。貸方（債権者）は、誰かが彼から受取って、支払い、弁済しなければならない何か、彼から由来する何かを誰かに、彼が与えた場合に、貸方（債権者）になる。したがって、受取られて弁済しなかった人は、借方（債務者）、与えられて弁済しなかった

人は、貸方（債権者）になる。『貸方（債権者）』なくして、『借方（債務者）』はない。『借方（債務者）』なくして、『貸方（債権者）』はない²⁰⁾と。

それでは、「借方（債務者）」として記録するのは何か、「貸方（債権者）」として記録するのは何か、したがって、どのように日々の取引事象を「借方（債務者）」と「貸方（債権者）」に分解するのであろうか。Gamersfelderは表現する。「これについては、以下のような『三様の規則』を記憶しなければならない。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 『収入する人』 (Wer empfangem hat) は『借方（債務者）』である。</p> <p>2. 私が受入れるものすべて (Alles was ich einsperre), たとえば,
『仕入れるもの』 (das ist kauff),
『受取るもの』 (das ist empfangen),
『取得するもの』 (das ich an mich bringe) は
『借方（債務者）』である。</p> <p>私が払出すものすべて (Alles was ich aussperre), たとえば,
『売上げるもの』 (das ist verkaufe),
『引渡すもの』 (das ist verhandel),
『発送して、消費するもの』 (das ist wegsende vnd verthue) は,
『貸方（債権者）』である。</p> <p>3. 『私が利得するもの』 (An wem ich gewin) は、商品 (Wahre),</p> | <p>『支出する人』 (Wer außgegeben hat) は『貸方（債権者）』である。</p> <p>『誰かから由来する』 (Woher es fleust) とか,
『私が支払うべき人』 (dem ichs zalen sol) は
『貸方（債権者）』である。</p> <p>『誰かに由来する』 (Wohin es fleusst) とか,
『私が受取るべき人』 (dasjenige dafür) は
『借方（債務者）』である。</p> <p>『損益』 (Gewin vnd Verlust) は
『貸方（債権者）』である。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

20) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 3L. 二重括弧および括弧内は筆者。
なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、表紙の裏側から打った丁数、3 Blattの左側の面Linkeと表現する。

人 (Person), 手形 (Wechsel),
冒険貸借 (Boddemerey) など,
いずれであろうとも,

『借方 (債務者)』である。

『私が喪失するもの』(An wem ich verliere) は, 商品, 人, 手形, 冒険貸借など, いずれであろうとも, 『貸方 (債権者)』である²⁰⁾ と。

そこで, Gamersfelderが表現する「三様の規則」を敷衍すると, 1. 「収入する人」は「人名勘定」(personal account) に記録されるのではなからうか。たとえば, 「債権の発生」は債務者勘定の「借方 (債務者)」, 「債務の消滅」は債権者勘定の「借方 (債務者)」として記録されるからである。これとは対称的に, 1. 「支出する人」は「人名勘定」に記録されるのではなからうか。たとえば, 「債務の発生」は債権者勘定の「貸方 (債権者)」, 「債権の消滅」は債務者勘定の「貸方 (債権者)」として記録されるからである。図4を参照。

さらに, 2. 「私が受入れるものすべて」, たとえば, 「仕入れるもの」, 「受取るもの」, 「取得するもの」は「物財勘定」(material account) に記録されるのではなからうか。たとえば, 商品の仕入は商品勘定の「借方 (債務者)」, 「現金の収入」は現金勘定の「借方 (債務者)」として記録されるからである。これに対して, 2. 「誰かから由来する」とか, 「私が支払うべき人」は「人名勘定」に記録されるのではなからうか。たとえば, 「債務の発生」は債権者勘定の「貸方 (債権者)」, 「債権の消滅」は債務者勘定の「貸方 (債権者)」として記録されるからである。これとは対称的に, 2. 「私が払出すものすべて」, たとえば, 「売上げるもの」, 「引渡すもの」, 「発送して, 消費するもの」は「物財勘定」に記録されるのではなからうか。たとえば, 「商品の売上」は商品勘定の「貸方 (債権者)」, 「現金の支出」は現金勘定の「貸方 (債権者)」として記録されるからである。これに対して, 2. 「誰かに由来する」とか, 「私が受取るべき人」は「人名勘定」に記録されるのではなからうか。たとえば, 「債

権の発生」は債務者勘定の「借方（債務者）」、「債務の消滅」は債権者勘定の「借方（債務者）」として記録されるからである。図4を参照。

ところで、3.「私が利得するもの」は、利益（収益）の発生によって生起する「現金の収入」、「債権の発生」または「債務の消滅」である。「物財勘定」または「人名勘定」には記録されるが、反対給付が実在することはないので、まさに「私が利得するもの」である。現金の収入は現金勘定の借方（債務者）、債権の発生は債務者勘定の「借方（債務者）」、債務の消滅は債権者勘定の「借方（債務者）」として記録される。これとは反対に記録される「利益（収益）の発生」は、3.「損益」である。たとえば、受取手数料、受取利息の利益（収益）である。反対給付として実在することはないので、物財勘定または人名勘定には記録されえない。「名目勘定」（nominal account）に記録されざるをえない。損益勘定（Gewinn- und Verlustkonto）の「貸方（債権者）」として記録されるのである。これとは対称的に、3.「私が喪失するもの」は、たとえば、損失（費用）の発生によって生起する「現金の支出」、「債務の発生」または「債権の消滅」である。「物財勘定」または「人名勘定」には記録されるが、反対給付が実在することはないので、まさに「私が喪失するもの」である。現金の支出は現金勘定の「貸方（債権者）」、債務の発生は債権者勘定の「貸方（債権者）」、債権の消滅は債務者勘定の「貸方（債権者）」として記録される。これとは反対に記録される「損失（費用）の発生」は、3.「損益」である。たとえば、諸掛り経費、支払手数料、支払利息の損失（費用）である。反対給付として実在することはないので、物財勘定または人名勘定には記録されえない。これまた、「名目勘定」に記録されざるをえない。損益勘定の「借方（債務者）」として記録されるのである。図4を参照。

もちろん、受取手数料、受取利息の利益（収益）について、どれくらい取得されたか認識し易いようにするためには、手数料勘定、利息勘定が開設されねばなるまい。諸掛り経費、支払手数料、支払利息の損失（費用）についても同様。どれくらい費消されたか認識し易いようにするためには、諸掛り経費勘定、手数料勘定、利息勘定が開設されねばなるまい。しかし、Gamersfelderが例示する「仕訳帳」、さらに、「元帳」では、受取家賃勘定（丁数10）と諸掛り経

費勘定（丁数18）を除いては、このような名目勘定に記録されることはない。したがって、最終的に損益勘定に集合されことはない。直接に損益勘定に記録されるだけである²¹⁾。

それでは、商品勘定に計算される「商品売買益」または「商品売買損」は、どのように解釈されるであろうか。想像するに、商品売買益の発生によって生起する「現金の収入」、「債権の発生」または「債務の消滅」のうち、商品売買益に相当する部分は、反対給付としては実在することがないので、「私が利得するもの」と解釈されかもしれない。そのように解釈されるとなると、商品勘定の貸方（債権者）の面に、商品の売上としては、「売上原価」が記録されるのではなかろうか。しかし、そのようには記録されることはない。商品勘定の貸方（債権者）の面に、「商品の売上」としては、「売上価額」が記録される。したがって、商品勘定の借方（債務者）の面に計算、記録される商品売買益に相当する部分が「私が利得するもの」と解釈されるしかない。損益勘定の貸方（債権者）の面に振替えられるにすぎないのだが、商品勘定に計算、記録されると同時に、商品売買益は損益勘定の「貸方（債権者）」として記録されるのである。これとは対称的に、商品売買損についても同様。商品勘定の貸方（債権者）の面に計算される商品売買損に相当する部分が「私が喪失するもの」と解釈されるしかない。損益勘定の借方（債務者）の面に振替えられるにすぎないのだが、商品勘定に計算、記録されると同時に、商品売買損は損益勘定の「借方（債務者）」として記録されるのである。図4を参照。

21) Vgl., Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 6 (Hauptbuch).

なお、「元帳」に打たれた丁数を使用して、6 Blattの両面と表現する。

借方（債務者）

貸方（債権者）

2.

*私が入受するものすべて、たとえば、仕入れるもの、受取るもの、取得するもの。

*商品の仕入は商品勘定の借方として記録。
*現金の収入は現金勘定の借方として記録。

*債務の発生は債権者勘定の貸方として記録。
*債権の消滅は債務者勘定の貸方として記録。

*支出する人。
*誰かから由来するとか、私が支払うべき人。

1.
2.

1.

*収入する人。
*誰かに由来するとか、私が受取るべき人。

*債権の発生は債務者勘定の借方として記録。
*債務の消滅は債権者勘定の借方として記録。

*商品の売上は商品勘定の貸方として記録。
*現金の支出は現金勘定の貸方として記録。

*私が払出すものすべて、たとえば、売上げるもの、引渡すもの、発送して、消費するもの。

2.

3.

*私が利得するもの。

利益（収益）の発生によって生じる
*現金の収入は現金勘定の借方として記録。
*債権の発生は債務者勘定の借方として記録。
*債務の消滅は債権者勘定の借方として記録。
*商品売買益に相当する部分は商品勘定の借方として記録。

*利益（収益）の発生は損益勘定の貸方として記録。

*損益。

3.

*商品売買益は損益勘定の貸方として記録。

3.	* 損益。	* 損失（費用）の発生は損益勘定の借方として記録。 * 商品売買損は損益勘定の借方として記録。	損失（費用）の発生によって生起する * 現金の支出は現金勘定の貸方として記録。 * 債務の発生は債権者勘定の貸方として記録。 * 債権の消滅は債務者勘定の借方として記録。 * 商品売買損に相当する部分は商品勘定の貸方として記録。	3.	* 私が喪失するもの。
----	-------	--------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-------------

図 4

さらに、「このような既述の諸規則の解説」(Erklärung dieser obgeschriebenen Regeln)²⁰⁾と標記して、どのように日々の取引事象を分解するか、具体的に取引事象で例示する。企業の開始時、企業の開始後について、Gamersfelderは表現する。

まずは、企業の開始時。「自己の商業の開始時に保有する貨幣を仕訳帳に移記するためには、受取った現金 (Cassa) は『借方 (債務者)』である。しかし、この現金が由来する資本金は『貸方 (債権者)』である。同様に、自己の資本金に由来する商品は『借方 (債務者)』である。これに対して、資本金は『貸方 (債権者)』である。商業の開始時に貸借している債務者 (債権) (Schulden) および債権者 (債務) (Widerschulden) についてであるが、自己に何かを負い、資本金に由来する場合に、この債務者 (債権) は『借方 (債務者)』である。これに対して、資本金は『貸方 (債権者)』である。自己が何かを負い、資本金に由来するなら、資本金は『借方 (債務者)』である。これに対して、この債権者 (債務) は『貸方 (債権者)』である」²²⁾。

22) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 3R. 整理番号, 二重括弧および括弧内は筆者。

なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、表紙の裏側から打った丁数、3 Blatt の右側の面Rechteと表現する。

「先物売買」および「商品の積送と荷受け」については、後述。

さらに、企業の開始後。

1. **貨幣の収入と支出** (Einnemen vnd Außgeben des Gelts) について。「貨幣を収入、したがって、誰かから借入れるか、誰かから支払われると」、「現金は『借方 (債務者)』である。誰かから受取ると」、「この誰かは『貸方 (債権者)』である。これに対して、貨幣を支出、したがって、誰かに貸付けるか、誰かに支払われると、この誰かは」『借方 (債務者)』である。これに対して、現金は『貸方 (債権者)』である」²²⁾。

2. **仕入と売上** (Kauffen vnd Verkauffen) について。「仕入れた商品は『借方 (債務者)』である。誰かから掛けで仕入れると、この誰かは『貸方 (債権者)』である。これに対して、売上げた商品は、『貸方 (債権者)』である。掛けで売上げて、誰かが仕入れるとか、誰かが支払うことを約束すると、この誰かは『借方 (債務者)』である」²²⁾。

3. **先物売買** (Kauffen vnd Verkauffen auff Lieferung) について。「商品を先物買付する (auff Lieferung kaufft)」場合に、「先物買付は『借方 (債務者)』である」。「誰かから買付けると、この誰かは『貸方 (債権者)』である。商品が引渡されると、商品は『借方 (債務者)』である。先物買付は『貸方 (債権者)』である。これに対して、商品を先物販売 (auff Lieferung verkaufft) する」場合に、「誰かに販売すると、この誰かは『借方 (債務者)』である。先物販売は『貸方 (債権者)』である。商品が引渡されると、商品は『貸方 (債権者)』である。先物販売は『借方 (債務者)』である」²²⁾。

4. **運賃および諸掛り経費の支払い** (Fracht vnd Vnkosten zu zalen) について。「経費、商品に関係する諸掛り経費は『借方 (債務者)』である。諸掛り経費に支出される現金は『貸方 (債権者)』である」²²⁾。

5. **商品の積送と荷受け** (Versenden vnd Empfahen der Wahre) について。「商品を積送すると、航海 (Reise) は」『借方 (債務者)』である。積送した商品は『貸方 (債権者)』である。商品が目的地に到着すると、荷受けした誰かは『借方 (債務者)』である。航海は」『貸方 (債権者)』である」²²⁾。

6. **債務の振替** (Vberweisung der Schulden) について。「債務を返済するのに、誰かが相手の誰かに返済するように依頼。返済する旨を承諾すると、こ

の依頼した誰かは『借方（債務者）』である。この返済する相手の誰かは『貸方（債権者）』である。相手の誰かに何かを振込むと、この相手の誰かは『借方（債務者）』である。この払込まれる何かは『貸方（債権者）』である²²⁾。

7. 交換 (Stich) について。「交換によって取得する商品は『借方（債務者）』である。引渡した商品は『債務者（貸方）』である²³⁾。

8. 損益 (Gewin vnd Verlust) について。「何か利得するものは」、「人、商品、冒険貸借、冒険売買、手形など、いずれであろうとも、『借方（債務者）』である。損益は『債務者（貸方）』である。これに対して、何か喪失するものは」、「人、商品、冒険貸借、冒険売買、手形貸借など、いずれであろうとも、『貸方（債権者）』である。損益は『借方（債務者）』である²⁴⁾。

9. 冒険貸借について。「冒険貸借で貨幣を支払うか、冒険貸借を仲立する誰かが支払いを代行すると、冒険貸借は『借方（債務者）』である。（貨幣を支払うと、現金は『貸方（債権者）』である。）仲介する誰かから代行する旨の書簡を受取ると、この仲立する誰かは『貸方（債権者）』である。これに対して、冒険貸借で貨幣を受取るか、冒険貸借を仲立する誰かが受取りを代行して、この仲立する誰かから代行する旨の書簡を交付されると、冒険貸借は『貸方（債権者）』である。（貨幣を受取ると、現金は『借方（債務者）』である。）この仲立する誰かは『借方（債務者）』である。さらに、冒険貸借で利益を得ているなら、冒険貸借は『借方（債務者）』である。損益は『貸方（債権者）』である。これに対して、冒険貸借で損失を被っているなら、冒険貸借は『貸方（債権者）』である。損益は『借方（債務者）』である²⁴⁾。

23) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 3Rf. 整理番号, 二重括弧および括弧内は筆者。なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、表紙の裏側から打った丁数, 3 Blatt の右側の面Rechteから 4 Blattの左側の面Linkeと表現する。

24) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 4L. 整理番号, 二重括弧および括弧内は筆者。なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、表紙の裏側から打った丁数, 4 Blatt の左側の面Linkeと表現する。

「冒険貸借」は「船舶抵当貸借」とも表現されるが、損害保険の歴史では、「冒険貸借」と表現されるので、そのように表現する。

「冒険売買」は、これを直訳して、「運と不運」と表現されるが、運と不運を賭しての射幸売買、まさに「賭事」であるので、ここでは「冒険売買」と表現する。

「冒険貸借」および「冒険売買」については、後述。

10.手形について。「為替証書が受取られると、手形は『借方（債務者）』である。支払う誰かは『貸方（債権者）』である」。これに対して、「誰かに為替証書を作成して、誰かから受取られるか、誰かに支払わねばならない為替証書が引渡されると、手形は『債権者（貸方）』である。受取られる誰かか、支払わねばならない誰かは『借方（債務者）』である。手形で利益を得ているなら、手形は『借方（債務者）』である。損益は『貸方（債権者）』である。これに対して、手形で損失を被っているなら、手形は『貸方（債権者）』である。損失は『借方（債務者）』である」²⁴⁾。

11.冒険売買 (Glück vnd Unglück) について。「運と不運を賭して売買すると、商品の仕入を賭した誰かは『貸方（債権者）』である。冒険売買は『借方（債務者）』である。これに対して、商品の売上を賭した誰かは『借方（債務者）』である。冒険売買は『貸方（債権者）』である。冒険売買で利益を得ているなら、冒険売買は『借方（債務者）』である。損益は『貸方（債権者）』である。これに対して、冒険売買で損失を被っているなら、冒険売買は『貸方（債権者）』である。損益は『借方（債務者）』である」²⁴⁾。

12.間違って移記される項目 (Versetze Posten) について。「間違って移記されたことに気付いたなら、訂正しなければならない。ある項目について、『借方（債務者）』を『貸方（債権者）』、『貸方（債権者）』を『借方（債務者）』と記録しているなら、仕訳帳に、反対側の項目を記録して、したがって、2倍の同額を記録して、仕訳帳に、本来の『借方（債務者）』は『借方（債務者）』に、本来の『貸方（債権者）』は『貸方（債権者）』にするようにする。ところが、『借方（債務者）』でないものを『借方（債務者）』にしているなら、反対側の項目を記録して、本来の『借方（債務者）』は『借方（債務者）』に、『借方（債務者）』でないものは『貸方（債権者）』にするようにする。『貸方（債権者）』でないものを『貸方（債権者）』にしているなら、反対側の項目にするようにして、本来の『貸方（債権者）』は『貸方（債権者）』に、『貸方（債権者）』でないものは『借方（債務者）』にする」²⁴⁾と。

しかし、「『貸方（債権者）』なくして、『借方（債務者）』はない」のが、なぜか、「『借方（債務者）』なくして、『貸方（債権者）』はない」のが、なぜか、

したがって、このように記録されるのが、なぜかについては、Gamersfelder 自身、全く解説してはいない。「借方（債務者）」としては、何が記録されるか、「貸方（債権者）」としては、何が記録されるか、ただ解説されるだけで、まさに暗記するだけの「規則」でしかない。このように記録されるのが、なぜかについては、想像するに、「借方（債務者）」と「貸方（債権者）」、「貸方（債権者）」と「借方（債務者）」として、まさに「反対記録」されることによって、帳簿の見開きの両面の左右対照に、日々の取引事象の金額、同額が記録して転記されるので、常時、帳簿の見開きの左側、借方の面に記録される合計と右側、貸方の面に記録される合計が一致する「貸借平均原理」が保証されるはずである。貸借平均原理が保証されることによって、企業の開始時、企業の開始後に保有する財産が管理されるからではなかろうか。筆者が想像するところについては、既述²⁵⁾。

それでは、仕訳帳には、どのように移記されるであろうか。Gamersfelder は表現する。「どこに『借方（債務者）』または『貸方（債権者）』が記録されねばならないか学習されたところで、項目ごとに、『借方（債務者）』または『貸方（債権者）』には、的確に分綴（Sylbe）を冠することに注目。そうすることによって、両者が即座に認識されうる。この場合に、多く表現することは無用である。二様の分綴、前置詞（Für）と前置詞（An）を使用して、前置詞（Für）を冠しては、『借方（債務者）』、前置詞（An）を冠しては、『貸方（債権者）』が記録されるのである。たとえば、

『借方（Für）Hans Hofer』、

『貸方（An）Heinrich Sommer』

と記録するなら、分綴の前置詞（Für）は即座に、『借方（債務者）』が Hans Hoferであることを意味して、分綴の前置詞（An）は即座に、『貸方（債権者）』が Heinrich Sommerであることを意味する。さらに、『借方（債務者）』は、元帳に転記して、記録される小辞（Wörtlein）、助動詞（sol）（彼は支払うべ

25) 参照、山下勝治著；『近代簿記論』、千倉書房 1962年、4頁以降。

参照、拙稿；「イタリアにおけるドイツ簿記の発展」、『商学論集』（西南学院大学）、52巻1号、2005年6月、17頁以降。

し＝私に借りている)によって識別される。これに対して、『貸方(債権者)』は、元帳に記録される小辞、助動詞＋動詞(sol haben)(彼は持つべし＝私に貸している)によって識別される。たとえば、

『債務者Hは借方(債務者Hは支払うべし(＝私に借りている)(Hans Hofer sol)』と記録する場合には、彼が負っていることを意味する。同様に、
『債権者Sは貸方(債権者Sは持つべし(＝私に貸している)(Heinrich Sommer sol haben)』

と記録する場合には、彼に負っていることを意味する。仕訳帳には、どのように項目を移記しなければならないか。項目ごとに、『借方(債務者)』は先行して(vorher),『貸方(債権者)』は後続して(darnach)記録される。両者の間には、『∥のような縦複線(solche zwey Strichlein / ∥)』が記録される。そのようにして、すべての取引が記録される¹⁶⁾と。

したがって、このように表現するかぎりでは、Schweickerによって出版される印刷本における同様のようである。仕訳帳には、先行して記録される前半と後続して記録される後半に分解するのに、「借方」を意味する「前置詞」と「貸方」を意味する「前置詞」を冠して記録されるようである²⁶⁾。しかし、実際には、後続して記録される「貸方(債権者)」は、「貸方」を意味する「前置詞」(An)を冠して記録されるのに対して、先行して記録される「借方(債務者)」は、元帳に転記されると同様に、「借方」を意味する「助動詞」(sol)を付して記録される。「借方」を意味する「前置詞」(Für)を冠して記録されることはないのである。実際には、Gamersfelderは表現する。たとえば、取引番号1について、仕訳帳(丁数1)に「現金は借方(現金は支払うべし＝私に借りている) ∥ 貸方 資本金(Cassa barschafft sol ∥ An Capital oder Hauptgut mein Christoff Vnuerdorbens)」²⁷⁾と。

26) Schweicker, Wolfgang; *a. a. O.*, Bl. 1L(Giornal).

なお、「仕訳帳」に打たれた丁数を使用して、1 Blattの左側の面Linkeと表現する。

参照、拙稿；「ドイツ簿記とイタリア簿記の交渉」、『商学論集』(西南学院大学), 50巻3号, 2003年12月, 8/18頁。

27) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 1R(Jornal).

なお、「仕訳帳」に打たれた丁数を使用して、1 Blattの右側の面Rechteと表現する。

そこで、Gamersfelderの例示する「仕訳帳」の様式としては、「取引番号と元丁の欄」、「摘要欄」と「金額欄」という表現は見出されないが、罫線を引いて区分される。仕訳帳の左端の行、取引番号と元丁の欄には、取引番号と、転記される元帳の丁数、二つの「元丁」が、中間に仕切線を引いて、上下に記録される。仕切線の上に記録される丁数は、転記される元帳の丁数と、「借方（債務者）」として記録されることを意味する。これに対して、仕切線の下に記録される丁数は、転記される元帳の丁数と、「貸方（債権者）」として記録されることを意味する。転記される元帳の丁数が記録されるのは、仕訳帳と、二重記録によって転記される元帳の勘定を照合しうるようになるためである。

さらに、摘要欄には、二重記録のために日々の取引事象を分解しては、「借方」を意味する「助動詞」を付して、これに対して、「貸方」を意味する「前置詞」を冠して、先行して記録される前半と後続して記録される後半に分解して記録される。先行して記録される前半と後続して記録される後半の中間は「縦複線」によって区分される。そうすることによって、まさに『借方（債務者）』は先行して、『貸方（債権者）』は後続して記録される」のである。もちろん、金額欄には、日々の取引事象の金額が記録される。

なお、Gamersfelderの例示する「仕訳帳」の丁数1を原文と共に表示することにする²⁷⁾。図5を参照。

仕訳帳

		丁数 1 (右側の面)		
取引番号 と元丁	神に感謝 1569年 ダンツィヒ 4月1日			
1 $\frac{1}{2}$	現金は借方 貸方 私, Cristoff Vnverdorbenの資本金。本日, 私の商業の開始時に, 私は現金を保有する。ポーランド貨幣。	fl 3360	gr —	d —
2 $\frac{2}{2}$	ルンド産の毛織物は借方 貸方 資本金。2 梱。1 番の 7 反は瑠璃色, 6 反は赤色, 4 反は青色。2 番の 9 反は瑠璃色, 5 反は赤色, 2 反は青色。取得原価。単価fl $32\frac{1}{2}$ 。	fl 1072	gr 15	d —
3 $\frac{2}{2}$	ライ麦は借方 貸方 資本金。24 ラスト, 単価fl $24\frac{3}{4}$ 。テール農場のレヴェン倉庫に保管する。	fl 594	gr —	d —
4 $\frac{3}{2}$	食塩は借方 貸方 資本金。32 梱, プローヴェ産の食塩。私は仕入可能な単価17fl で計算。ランゲン水路に面した横路地の部屋に保管する。	fl 544	gr —	d —
5 $\frac{3}{2}$	Hans Hoferは借方 貸方 資本金。彼は最近の仕切書に従い, 支払いを負い, 同月12日には支払わねばならない。	fl 498	gr 15	d —
6 $\frac{3}{2}$	Christoff Schönawerは借方 貸方 資本金。彼は最近の仕切書に従い, 支払いを負い, 支払期日は復活祭。	fl 388	gr —	d —
7 $\frac{3}{2}$	トロン市民のHeinrich Lufftは借方 貸方 資本金。彼の証文によると, 支払期日は聖霊降臨祭。	fl 370	gr 22	d 9
8 $\frac{2}{4}$	資本金は借方 貸方 Heinrich Sommer。彼は最近の仕切書に従い, 5月6日に支払いを受取ることができる。	fl 419	gr —	d —
9 $\frac{2}{4}$	資本金は借方 貸方 Nicolaus Streyllは私の証文に従い, 同月8日に支払いを受取ることができる。	fl 400	gr —	d —
10 $\frac{2}{4}$	資本金は借方 貸方 マリエンブルク市民のLucas Strobel。来る聖ヨハネ祭に支払いを受取ることができる。	fl 315	gr 25	d —

		4月5日			
11	$\frac{2}{4}$	ライ麦は借方 貸方 Anthonius Lerch。18ラスト、 単価23fl。支払期日は14日。エンジェル倉庫に保 管する。	fl 414	gr —	d —
12	$\frac{4}{1}$	牛皮は借方 貸方 現金。17枚、単価 $16\frac{1}{2}$ fl。Hans Haßから仕入れる。	fl 280	gr 15	d —
13	$\frac{4}{3}$	滑石粉は借方 貸方 Hans Hofer。彼は5樽について、 私がConrad Frolichに支払うことを約束する。5樽 は以下のとおり。 1番、総量29ラエプ20ポンド、風袋2ラエプ4ポンド、 2番、 “ 27 “ 24 “ “ 2 “ 3番、 “ 25 “ 19 “ “ 1 “ 25 “ 4番、 “ 21 “ 30 “ “ 1 “ 16 “ 5番、 “ 20 “ 25 “ “ 1 “ 12 “ 計 総量125ラエプ16ポンド、風袋8ラエプ23ポンド、 単価gr43.	fl 167	gr 12	d —

Laus Dec. 15 69. in Danzig.

Abi 1 April.

1	¹ / ₂ Cassa beschafft sol An Capital oder bezeugt mein Christoff Druer- dorbens/ das ich auff dato meines handels anfang bar habe R Polnisch	R 33 60 35	— 2 —
2	¹ / ₂ Ländisch tuch sol An Capital 2 Ballen N ^o 1. 7 Lafur 6 Kot 4 Blawe/ N ^o . 2/9 Lafur 5 Kot 2 Blawe. Kost ein tuch R 32 1/2 / thut	—	R 107 2 35 15 2
3	¹ / ₂ Roggen sol An Capital 24 Last aR 24 3/4 ligt im Lewen speycher bey dem Tscherschoff / thut	—	R 59 4 35 — 2 —
4	¹ / ₂ Salz sol An Capital 32 Last Browassisch salt/ rechene ich die Last wie sich lauffgangbar/nemlich vmb R 17/ ligt im Raum in der zwerecksa- fen nach dem Langenlauff/ thut	—	R 54 4 35 — 2 —
5	¹ / ₂ Hans Hofst sol An Capital er in der jüngsten rechnung schuldig blihen vnd jalem sol auff adi 12 Ditto	—	R 49 8 35 15 2 —
6	¹ / ₂ Christoff Schönauer sol An Capital er in der jüngsten rechnung schuldi- g blihen/ frist Dstern	—	R 38 8 35 — 2 —
7	¹ / ₂ Henrich Lufft Burger in Thorn sol An Capital inhalt seiner Handt- schrieff/ viel Pfingsten	—	R 37 0 35 22 2 — 3
8	¹ / ₂ Capital sol An Henrich Essler vermög der jüngsten rechnung auff adi 6 Maij jatum/	—	R 41 9 35 — 2 —
9	¹ / ₂ Capital sol An Nicolaus Serepl vermög meiner handschrieff / jatum/	—	R 40 0 35 — 2 —
10	¹ / ₂ Capital sol An Lucas Strobel Burger in Marienburg auff Johanni recht kommend/ jatum	—	R 31 5 35 25 2 —
Abi 5 Ditto.			
11	¹ / ₂ Roggen sol An Anthonium Lerch 18 Last/ die last aR 23/ frist 14 tag ligt im Engel thut	—	R 41 4 35 — 2 —
12	¹ / ₂ Schmelzeder sol An Cassa 17 Tschet/ dem lecher aR 16 1/2 / habe ich ge- laufft von Hans Has/ thut	—	R 28 0 35 15 2 —
13	¹ / ₂ Tschil sol An Hans Hofst versprach er dem Conrad Trösch von mein- en wegen zu bezalen für 5 Jahr/ wegen wie volgt: N ^o 1. wigt 29 lap. 20 3/ / Thara 2 lap. 4 3/ 4 N ^o 2. wigt 27 lap. 24 3/ / Thara 1 lap N ^o 3. wigt 25 lap. 19 3/ / Thara 1 lap. 25 3/ 4 N ^o 4. wigt 21 lap. 30 3/ / Thara 1 lap 16 3/ 4 N ^o 5. wigt 20 lap. 25 3/ / Thara 1 lap. 12 3/ 4 Tschil 125 lap. 16 3/ / Thara 8 lap. 23 3/ 4 35 43/ thut	—	R 167 35 12 3

さらに、「元帳」についてである。仕訳帳から元帳に転記されるのである。Gamersfelderは表現する。「仕訳帳に『借方（債務者）』と『貸方（債権者）』として移記することを学習したところで、いま、項目ごとに、仕訳帳から元帳に転記することになる。たとえば、仕訳帳には、最初の項目は、『現金は借方（現金は支払うべし＝私に借りている） || 貸方 資本金』²⁸⁾と記録するので、「元帳には、最初の帳面、左手の側に、『借方（債務者）』である現金、したがって、『現金は借方（現金は支払うべし＝私に借りている）。4月1日。貸方 資本金。（Cassa barschafft sol. Adi 1 Aprilis. An Capital oder Hauptgut mein Christoff Vnuerdorbens)』

と転記しなさい。仕訳帳に、月日は帳面の中央に記録するのに対して、元帳には、『借方（債務者）』と『貸方（債権者）』の中間に記録することに注意²⁸⁾。「合計のfl3360.の金額は3本の罫線の間記録しなさい」。「この罫線の前の行には、『貸方（債権者）』が元帳の、どの帳面に転記されたか、資本金のある帳面（相手勘定）の丁数（zal des bladts）、元丁（a carta / ac）を記録しなさい。そのようにしたら、仕訳帳に立ち戻って、最初の項目の前の行に、『一のような仕切線』（solches — Strichlein）を引いて、仕切線の上に、『借方（債務者）』である現金が元帳の、どの帳面にあるか、したがって、最初の帳面にあるということで、元丁は $\frac{1}{2}$ と記録しなさい²⁸⁾。「それから、資本金である『貸方（債権者）』は右手の側に転記しなさい。したがって、

『資本金は貸方。4月1日。借方 現金（Capital oder Hauptgut mein Christoff Vnuerdorbens sol haben. Adi 1 Aprilis. Für Cassa)』

と転記しなさい。元帳には、常時、『借方（債務者）』は左手の側に、『貸方（債権者）』は右手の側に記録されねばならないことに注意²⁸⁾。「合計のfl3360.は金額を記録するための3本の罫線の間記録しなさい。現金で記録したのと同様に、この罫線の前の行には、『借方（債務者）』が元帳の、どの帳面に転記されたか、現金のある最初の帳面（相手勘定）の丁数、元丁を記録しなさい。仕訳帳には、最初の項目の前の行に、元丁は $\frac{1}{2}$ と記録している仕切線の下に、

28) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 12R (Jornal). 二重括弧および括弧内は筆者。

なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、「仕訳帳」の末丁から打った丁数を使用して、12Blattの右側の面Rechteと表現する。

『貸方（債権者）』である資本金が元帳の、どの帳面にあるかということで、元丁は $\frac{1}{2}$ と記録しなさい²⁸⁾と。

したがって、「先行して記録される前半」が元帳に転記されると、元帳の金額を記録する前の行に、相手勘定の丁数、「元丁」が記録されると同時に、仕訳帳の左端の行には、仕切線を引いて、仕切線の上に、元帳の丁数、「元丁」が記録される。これに対して、「後続して記録される後半」が元帳に転記されても同様。元帳の金額を記録する前の行に、相手勘定の丁数、「元丁」が記録されると同時に、仕訳帳の左端の行には、この仕切線の下に、元帳の丁数、「元丁」が記録される。そうすることによって、まずは、「転記漏れ」、「二重転記」、このような帳簿記録の過誤は防止されようというものである。「元丁」が記録されるのは、仕訳帳と、二重記録によって転記される元帳の勘定を照合しうるようになるためであるのも、元帳の勘定と勘定を照合しうるようになるためであるのも、そのような帳簿記録の過誤を探索するためであるからである。

ところが、元帳の左端の行には、Schweickerによって出版される印刷本におけると相違して、「取引番号」が記録されることはない。しかし、Gamersfelderは表現する。『借方（債務者）』または『貸方（債権者）』については、簡易化したがために知らされない何かを知りたいのなら、その項目は仕訳帳を探索しなさい。したがって、この項目が何月何日に生じたのか、この日付を仕訳帳から探索しなさい。そうすることによって、取引きを完全に見分けようであろう。借方（債務者）および貸方（債権者）については、この項目が仕訳帳にある帳面の丁数 (zal des bladts / an welchem dieselbige post im Jornal stehet) (したがって、仕丁) を元帳に記録することもある。しかし、仕訳帳の項目に『(取引) 番号』を付して、元帳でも、その項目の前の行に記録することもある。このような方法は好ましくもある。そのようにしたいのなら、そうしてもよい²⁹⁾と。

したがって、このように表現するかぎりでは、「取引番号」が記録されるこ

29) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 13R (Jornal). 二重括弧および括弧内は筆者。

なお、丁数が打たれてないので、筆者が便宜的に、「仕訳帳」の末丁から打った丁数を使用して、13Blattの右側の面Rechteと表現する。

とは意識されている。そればかりか、転記する仕訳帳の丁数、「仕丁」が記録されることも意識されている。「取引番号」、「仕丁」が記録されるのは、二重記録によって転記される元帳の勘定と、仕訳帳を照合しうのようにするためではあるが、Gamersfelderによると、そうではないようである。「二重記録」のために日々の取引事象を分解するのが仕訳帳ではあるが、まずは、日々の取引事象が発生すると、最初に記録するのが、主要な帳簿としては、仕訳帳。したがって、「原始記録」としての帳簿であるので、「簡易化したがために知らされない何かを知りたいのなら」、「この項目が何月何日に生じたのか、この日付を仕訳帳から探索」するだけで、「取引を完全に見分けうる」にちがいない。したがって、元帳に記録される「日付」から仕訳帳を探索すればよいということで、「取引番号」、「仕丁」が記録されなくても、それほど支障はないということではなかろうか。

そこで、Gamersfelderの例示する「元帳」の様式としては、帳簿の見開きの両面に、実は「摘要欄」、「元丁欄」と「金額欄」という表現は見出されないが、罫線を引いて区分される。帳簿の見開きの両側の面の冒頭の欄に転記される場合に、摘要欄に、転記される項目が「元帳の見出し」として記録されるので、これより下の欄に転記される場合には、この項目を記録するのは省略して、取引月と取引日の「日付」から記録される。

まずは、仕訳帳に記録される「前半の項目」は、「帳面の左手に」転記されるので、帳簿の見開きの左側の面の摘要欄には、「借方（債務者）」を意味する「助動詞」を付して、「彼は支払うべし＝私に借りている」、したがって、前半の項目は「借方」と記録される。さらに、「日付」を記録して区分されるが、仕訳帳に後続して記録される「後半の項目」、したがって、相手勘定、この相手勘定は「貸方」を意味する「前置詞」を冠して記録される。また、この摘要欄の右側、元丁欄には、この相手勘定が転記される元帳の丁数、「元丁」が記録される。これに対して、仕訳帳に記録される「後半の項目」は、「帳面の右手に」転記されるので、帳簿の見開きの右側の面の摘要欄には、「貸方（債権者）」を意味する「助動詞＋動詞」を付して、「彼は持つべし＝私に貸している」、したがって、後半の項目は「貸方」と記録される。さらに、これまた、「日付」

を記録して区分されるが、仕訳帳に先行して記録される「前半の項目」、したがって、相手勘定、この相手勘定は「借方」を意味する「前置詞」を冠して記録される。また、この摘要欄の右側、元帳欄には、この相手勘定が転記される元帳の丁数、「元丁」が記録される。貸方の面と借方の面に、相手勘定が転記される元帳の丁数が記録されるのは、二重記録によって転記される元帳の勘定と勘定を照合しうるようになるためである。もちろん、金額欄には、仕訳帳に記録されると同様に、日々の取引事象の金額が記録される。

そこで、Gamersfelderは表現する。たとえば、取引番号2について、仕訳帳（丁数1）に「ルンド産の毛織物は借方 || 貸方 資本金²⁷⁾と記録する。元帳に転記されて、ルンド産の毛織物勘定（丁数2）の借方の面に記録するのは、「ルンド産の毛織物は借方（毛織物は支払うべし＝私に借りている）。4月1日。貸方 資本金（Lundisch tuch sol. Adi 1 April. An Capital）」³⁰⁾、資本金勘定（丁数2）の貸方の面に記録するのは、「資本金は貸方（資本金は持つべし＝私に貸している）（Capital oder Hauptgut mein Christoff Vnuerdorbens sol haben）」は冒頭に記録されるので、これを省略して、「同月同日。借方 ルンド産の毛織物（Ditto. Für Lundisch tuch）」と³¹⁾。

さらに、取引番号16について、仕訳帳（丁数2）に「債務者Eは借方 || 貸方 ルンド産の毛織物³²⁾と記録する。元帳に転記されて、債務者E勘定（丁数5）の借方の面に記録するのは、「債務者E勘定は借方（債務者Eは支払うべし＝私に借りている）。4月6日。貸方 ルンド産の毛織物（Erhart Lung sol. adi 6 April. An Lundisch tuch）」³³⁾、

30) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 2L (Hauptbuch). 括弧内は筆者。

なお、「元帳」に打たれた丁数を使用して、2 Blattの左側の面Linkeと表現する。

31) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 2R (Hauptbuch). 括弧内は筆者。

なお、「元帳」に打たれた丁数を使用して、2 Blattの左側の面Rechteと表現する。

32) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 2L (Jornal).

なお、「仕訳帳」に打たれた丁数を使用して、2 Blattの左側の面Linkeと表現する。

33) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 5L (Hauptbuch). 括弧内は筆者。

なお、「元帳」に打たれた丁数を使用して、5 Blattの左側の面Linkeと表現する。

ルンド産の毛織物勘定（丁数2）の貸方の面に記録するのは、
「ルンド産の毛織物は貸方（毛織物は持つべし＝私に貸している）。4月6日。
借方 債務者E（Lundisch tuch sol haben. Adi 6 April. Für Erhart Lung）」³¹⁾
と。

ところで、「相手勘定」が記録されるのが、なぜかについては、反対記録されるのが、なぜかについてと同様に、Gamersfelder自身、全く解説してはいない。想像するに、貸借平均原理が保証されるように、反対記録されて、相手勘定が取引順に記録されるのは、これまた、企業の開始時、企業の開始後に保有する財産が管理されるからではなかろうか。たとえば、取引番号1について、元帳の摘要欄には、現金勘定の借方の面に、相手勘定が記録されることによって、「現金の収入」が「資本金の発生」、したがって、資本の増加によって生じたこと、これに対して、資本金勘定の貸方の面に、相手勘定が記録されることによって、「資本金の発生」、したがって、資本の増加が「現金の収入」によって生じたこと、したがって、元帳に転記される取引事象が、どのような理由で生じたか、さらに、現金勘定に計算される「現金残高」、資本金勘定に計算される「資本金残高」に、どのような理由で到達したかも判読されるからである³⁴⁾。図6を参照。

34) 参照、拙稿；「簿記の歴史・覚え書」、『商学論集』（西南学院大学）、42巻1・2号、1995年12月、42頁。

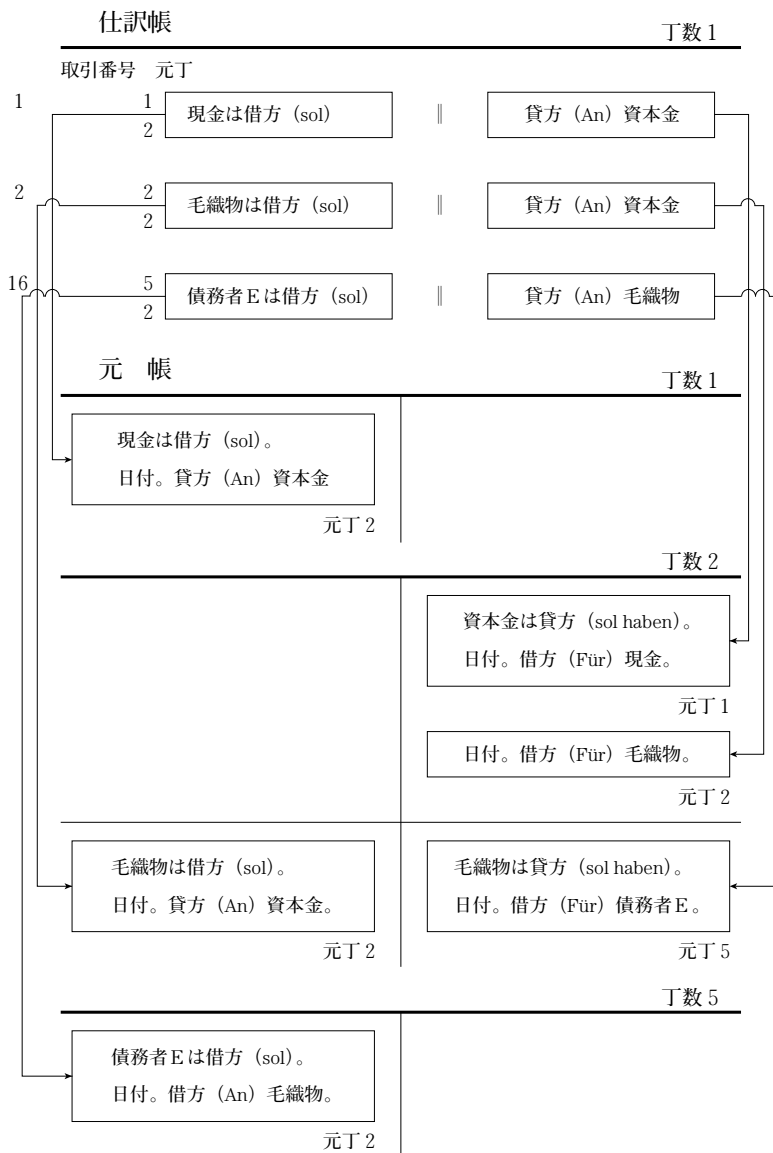


図 6

なお、Gamersfelderの例示する「元帳」、丁数1および丁数17の「現金勘定」、丁数2の「資本金勘定」、丁数2、丁数17、丁数5および丁数11の「商品勘定」、丁数6の「損益勘定」を原文と共に表示することにする³⁵⁾。図7、図8、図9および図10を参照。

元帳 現金勘定

				丁数1					
神に感謝 1569年 ダンツィヒ									
現金は借方。4月 1日。貸方 私、 Christoff Vnuerdor- benの資本金。本日、 私は現金を保有。				現金は貸方。4月 5日。借方 牛革。					
元丁2	fl 3360	gr —	d —	元丁4	fl 280	gr 15	d —		
同月6日。貸方 食 塩。	元丁3	fl 237	gr —	d —	同月6日。借方 損 益。	元丁6	fl 24	gr 15	d —
同月同日。貸方 損 益。	元丁6	fl 40	gr —	d —	同月25日。借方 Kilian von Lier。	元丁7	fl 400	gr —	d —
同月19日。貸方 Georg Brenner。	元丁6	fl 500	gr —	d —	同月同日。借方 Erhart Lung。	元丁5	fl 600	gr —	d —
同月同日。貸方 Fabian Kößner。	元丁6	fl 1000	gr —	d —	同月同日。借方 Heinrich Sommer。	元丁4	fl 250	gr —	d —
同月同日。貸方 Erhart Lung。	元丁5	fl 200	gr —	d —	5月2日。借方 Heinrich Sommer。	元丁4	fl 300	gr —	d —
5月5日。貸方 Caspar Bamberger。	元丁8	fl 150	gr —	d —	同月9日。借方 Steffan Schmidt。	元丁8	fl 495	gr —	d —
同月10日。貸方 Vaelentin Brüning。	元丁7	fl 151	gr —	d —	同月同日。借方 Heinrich Sommer。	元丁4	fl 600	gr —	d —
同月同日。貸方 Caspar Bamberger。	元丁8	fl 300	gr —	d —	同月19日。借方 Lucas Strobel。	元丁4	fl 300	gr —	d —
					同月24日。借方 Nicolaus Steyl。				

35) Gamersfelder, Sebastian; *a. a. O.*, Bl. 1/2/5/6/11/17 (Hauptbuch).

なお、「元帳」に打たれた丁数を使用して、1 Blattの両側の面、2 Blattの両側の面、5 Blattの両側の面、6 Blattの両側の面、11 Blattの両側の面、17 Blattの両側の面と表現する。

同月19日。貸方 Heinrich Luftt。 元丁3	fl	356	gr	—	d	—	元丁4	fl	400	gr	—	d	—
同月24日。貸方 Christoff Schönawer。 元丁3	fl	388	gr	—	d	—	同月24日。借方 損益。元丁6	fl	16	gr	—	d	—
同月同日。貸方 損 益。元丁6	fl	6	gr	15	d	—	同月28日。借方 Philip Waltreridit。 元丁5	fl	213	gr	15	d	—
同月28日。貸方 Bartholomeus Meyr。 元丁5	fl	40	gr	15	d	—	6月3日。借方 Wilhelm Frauft。 元丁6	fl	193	gr	—	d	—
6月3日。貸方 Philip Waltreide。 元丁5	fl	47	gr	15	d	—	同月4日。借方 Otto Schultz。 元丁9	fl	200	gr	—	d	—
同月同日。貸方 Hans Hofer。 元丁3	fl	100	gr	23	d	6	同月同日。借方 Christoff Schönawer。 元丁3	fl	235	gr	—	d	—
同月12日。貸方 Lucas Strobel。 元丁4	fl	35	gr	—	d	—	同月12日。借方 Nicolaus Streyl。 元丁4	fl	280	gr	—	d	—
同月同日。貸方 Kilian von Lier。 元丁7	fl	180	gr	—	d	—	同月16日。借方 損益。元丁6	fl	9	gr	—	d	—
同月19日。貸方 Ruprecht Strauß。 元丁10	fl	31	gr	—	d	—	同月19日。借方 Hans Hofer。 元丁3	fl	820	gr	—	d	—
同月26日。貸方 Rudolf Thonnes Erben。元丁9	fl	100	gr	—	d	—	同月26日。借方 ライ麦。元丁2	fl	21	gr	28	d	—
同月29日。貸方 Erhart Lung。 元丁5	fl	46	gr	20	d	—	同月同日。借方 蜜 蠟。元丁5	fl	6	gr	15	d	—
同月同日。貸方 村 長。元丁9	fl	11	gr	—	d	—	同月同日。借方 胡 椒。元丁9	fl	8	gr	24	d	—
同月同日。貸方 Steffan Schmidt。 元丁8	fl	49	gr	10	d	—	同月29日。借方 庭園。元丁10	fl	200	gr	—	d	—
7月15日。貸方 ライ麦。元丁2	fl	18	gr	20	d	—	7月17日。借方 Reinholdt Thum- waldt。元丁12	fl	22	gr	—	d	—
同月26日。貸方 Thomas Langier。 元丁8	fl	350	gr	—	d	—	同月26日。借方 Andreas Kleinwaldt。 元丁11	fl	200	gr	—	d	—
8月9日。貸方 冒 険貸借。元丁13	fl	165	gr	—	d	—	同月同日。借方 Balthafer Runck。 元丁8	fl	794	gr	22	d	9
同月10日。貸方 手 形。元丁15	fl	213	gr	10	d	—	同月30日。借方 Dietrich Kolbrg。 元丁12	fl	36	gr	22	d	9
							8月5日。借方 小 麦。元丁11	fl	32	gr	—	d	—
							同月9日。借方						

同月24日。貸方 Conradt Thürfecket。 元丁16	fl 220	gr —	d —	冒険貸借。 元丁13	fl 220	gr —	d —
同月30日。貸方 手 形。元丁16	fl 385	gr —	d —	同月25日。借方 冒険売買。			
10月12日。貸方 Valentin Brüning。 元丁7	fl 309	gr —	d —	元丁14	fl 34	gr —	d —
11月2日。貸方 Ulrich Starck。 元丁17	fl 100	gr —	d —	同月30日。借方 冒険売買。			
合計fl9181.gr8.d6.				元丁14	fl 207	gr —	d —
				9月10日。借方 手形。元丁15	fl 352	gr —	d —
				同月28日。借方 手形。元丁15	fl 345	gr —	d —
				同月30日。借方 手形。元丁15	fl 350	gr —	d —
				10月8日。借方 ルンド産の毛織物。 元丁2	fl 35	gr 10	d 9
				同月同日。借方 胡 椒。元丁9	fl 7	gr 10	d —
				同月19日。借方 Rudolff Geyer。 元丁16	fl 240	gr —	d —
				同月27日。借方 Wilhelm Frauft。 元丁6	fl 143	gr 15	d —
				同月同日。借方 こ れ自体。ここから 振替。私は現金を 保有。元丁17	fl 307	gr 25	d 15
				合計fl9181.gr8.d6.			

*帳簿の余白がないので、現金残高は新しい帳簿、丁数17に振替。

1. **Laus Dec. 1569. in Danczig.**

	Cassa barschaft sel Adm. Rent An Capital oder Hauptgut mein Christoff unuerdorns das ich auff dato dar habe	acc	2	℞ 3360	℥	—	—
6	Ditto An Salt	acc	3	℞ —	237	℥	—
	— Ditto An Grewin vnd Verlust	acc	6	℞ —	40	℥	—
19	Ditto An Georg Brenner	acc	6	℞ —	500	℥	—
	— Ditto An Fabian Köpfer	acc	6	℞ 1000	℥	—	—
	— Ditto An Erhart Lung	acc	5	℞ —	200	℥	—
Abi 5	Maj An Caspar Damberger	acc	8	℞ —	150	℥	—
10	Ditto An Valentin Bruning	acc	7	℞ —	151	℥	—
	— Ditto An Caspar Damberger	acc	8	℞ —	300	℥	—
19	Ditto An Hünrich Luffe	acc	3	℞ —	356	℥	—
24	Ditto An Christoff Schönauer	acc	3	℞ —	388	℥	—
	— Ditto An Grewin vnd Verlust	acc	6	℞ —	6	℥	15
28	Ditto An Bartholomeus Weyer	acc	5	℞ —	40	℥	15
Abi 3	Juni An Philip Waltradi	acc	5	℞ —	47	℥	15
	— Ditto An Hans Hofer	acc	3	℞ —	190	℥	23
12	Ditto An Lucas Strobel	acc	4	℞ —	35	℥	—
	— Ditto An Kilian von Lier	acc	7	℞ —	180	℥	—
19	Ditto An Ruprecht Straus	acc	10	℞ —	31	℥	—
26	Ditto An Rudolf Thonnes Erben	acc	9	℞ —	100	℥	—
29	Ditto An Erhart Lung	acc	5	℞ —	46	℥	20
	— Ditto An Ditto Schulzen	acc	9	℞ —	11	℥	—
	— Ditto An Euffan Schmitz	acc	8	℞ —	49	℥	10
Abi 15	Julii An Roggen	acc	2	℞ —	18	℥	20
26	Ditto An Thomas Langier	acc	8	℞ —	350	℥	—
Abi 9	Augusti An Do' demery	acc	13	℞ —	165	℥	—
Abi 10	Septembri An Wechsel	acc	15	℞ —	213	℥	—
24	Ditto An Conradt Thürschel	acc	16	℞ —	220	℥	—
30	Ditto An Wechsel	acc	16	℞ —	385	℥	—
Abi 12	Octobris An Valentin Bruning	acc	7	℞ —	309	℥	—
Abi 2	Novembri An Ulrich Starck	acc	17	℞ —	100	℥	—

Summa 9181. 8. 6.

Laus Deo. 1569. in Danzig.

Essa barschaft sol haben	Abt 5 April Für Ochsenleder	—	acc	4	fl	—	280	gr	15	—
6 Ditto Für Gewin vnd Verlust	—	—	acc	6	fl	—	24	gr	15	—
25 Ditto Für Kition von Lic	—	—	acc	7	fl	—	400	gr	—	—
— Ditto Für Erhart Langa	—	—	acc	5	fl	—	600	gr	—	—
— Ditto Für Hannich Sommer	—	—	acc	4	fl	—	250	gr	—	—
Abt 2 Maij Für Heinrich Sommer	—	—	acc	4	fl	—	300	gr	—	—
9 Ditto Für Steffan Schmidt	—	—	acc	8	fl	—	495	gr	—	—
— Ditto Für Heinrich Sommer	—	—	acc	4	fl	—	600	gr	—	—
19 Ditto Für Lucas Strobel	—	—	acc	4	fl	—	300	gr	—	—
24 Ditto Für Nicolaus Strepl	—	—	acc	4	fl	—	400	gr	—	—
— Ditto Für Gewin vnd Verlust	—	—	acc	6	fl	—	16	gr	—	—
28 Ditto Für Philip Waltradt	—	—	acc	5	fl	—	213	gr	15	—
Abt 3 Junij Für Wilhelm Fraust	—	—	acc	6	fl	—	193	gr	—	—
4 Ditto Für Dito Schulzen	—	—	acc	9	fl	—	200	gr	—	—
— Ditto Für Christoff Schönewer	—	—	acc	3	fl	—	235	gr	—	—
12 Ditto Für Nicolaus Strepl	—	—	acc	4	fl	—	280	gr	—	—
16 Ditto Für Gewin vnd Verlust	—	—	acc	6	fl	—	9	gr	—	—
19 Ditto Für Hans Hofst	—	—	acc	3	fl	—	820	gr	—	—
26 Ditto Für Roggen	—	—	acc	2	fl	—	21	gr	28	—
— Ditto Für Wachs	—	—	acc	5	fl	—	6	gr	15	—
— Ditto Für Pfeffer	—	—	acc	9	fl	—	8	gr	4	—
29 Ditto Für Garten	—	—	acc	10	fl	—	200	gr	—	—
Abt 17 Julij Für Reinholdt Lhamwaldt	—	—	acc	12	fl	—	22	gr	—	—
26 Ditto Für Andreas Kleinwaldt	—	—	acc	11	fl	—	200	gr	—	—
— Ditto Für Baltzhafer Kunck	—	—	acc	8	fl	—	794	gr	2	—
30 Ditto Für Dietrich Kolberg	—	—	acc	12	fl	—	36	gr	2	—
Abt 5 Augusti Für Weise	—	—	acc	11	fl	—	32	gr	—	—
9 Ditto Für Boddemeren	—	—	acc	13	fl	—	220	gr	—	—
25 Ditto Für Glück vnd Unglück	—	—	acc	14	fl	—	34	gr	—	—
30 Ditto Für Glück vnd Unglück	—	—	acc	14	fl	—	207	gr	—	—
Abt 10 Septembris Für Wechsel	—	—	acc	15	fl	—	352	gr	—	—
28 Ditto Für Wechsel	—	—	acc	15	fl	—	345	gr	—	—
30 Ditto Für Wechsel	—	—	acc	15	fl	—	350	gr	—	—
Abt 8 Octobris Für Ländisch tuch	—	—	acc	2	fl	—	35	gr	10	—
— Ditto Für Pfeffer	—	—	acc	9	fl	—	7	gr	10	—
19 Ditto Für Kudoiff Seyer	—	—	acc	16	fl	—	240	gr	—	—
27 Ditto Für Wilhelm Fraust	—	—	acc	6	fl	—	143	gr	15	—
— Ditto Für sich selber für sich getragen hatz verhanden	—	—	acc	17	fl	—	307	gr	25	—

Summa 9181. 8. 6.

E 4

丁数17

現金は借方。10月27日。貸方 これ自体。ここに振替。私は現金を保有。					現金は貸方。11月2日。借方 Stentzel Dominick。			
元丁1	fl 307	gr 25	d 15		元丁17	fl 285	gr 22	d 9
11月8日。貸方 Simon Brewer。					同月12日。借方 Christoff Schönawer。			
元丁17	fl 113	gr 7	d 9		元丁3	fl 250	gr 22	d 9
同月12日。貸方 先物売買。元丁7	fl 13	gr —	d —		同月20日。借方 Philip Waltreidt。			
同月同日。貸方 小麦。元丁11	fl 656	gr 21	d —		元丁5	fl 137	gr 7	d 9
同月同日。貸方 ルンド産の毛織物。					12月2日。借方 Heinrich Sommer。			
元丁2	fl 451	gr 22	d 9		元丁4	fl 379	gr 7	d 9
同月20日。貸方 Heinrich Luftt。					同月13日。借方 Georg Mütradt。			
元丁3	fl 37	gr 7	d 9		元丁18	fl 156	gr —	d —
同月29日。貸方 Franciscum Banawer。					同月20日。借方 黒貂の毛皮。			
元丁12	fl 550	gr —	d —		元丁18	fl 145	gr 3	d 14
12月17日。貸方					同月30日。借方 諸掛り経費。			
					元丁18	fl 399	gr 6	d 3

(右頁へ続く)

Cassa barochafft sol Abi 27 Octobris An sich selber herfür getragen					
bahr vorhanden	—	—	—	—	1 fl — 307 gr 258 1/2
Abi 8 Nouembris An Simon Brewer	—	—	—	—	17 fl — 113 gr 7 1/2
12 Ditto An Ueferung	—	—	—	—	7 fl — 13 gr —
— Ditto An Weizen	—	—	—	—	11 fl — 656 gr 21 1/2
— Ditto An Lundsich tuch	—	—	—	—	2 fl — 451 gr 22 1/2
20 Ditto An Heinrich Luftt	—	—	—	—	3 fl — 37 gr 7 1/2
20 Ditto An Franciscum Banawer	—	—	—	—	12 fl — 550 gr —
Abi 17 Decembris An Martin Klam	—	—	—	—	18 fl — 6 gr —
— Ditto An Steffan Schmitz	—	—	—	—	8 fl — 208 gr 9 1/2
29 Ditto An Dietrich Kolberg	—	—	—	—	12 fl — 9 gr 6 1/2
Summa	2353.	8.	12.		

(左頁から続く)

Martin Klein。					同月同日。借方 此			
元丁18	f	16	gr	—	れ自体。この帳簿			
同月同日。貸方					を締切るために、			
Steffan Schmidt。					ここから振替。私			
元丁8	fl	208	gr	9	は現金を保有。			
同月29日。貸方				d	6			
Dieterich Kolberg。					元丁19	fl	599	gr 28 d 13
元丁12	fl	9	gr	5	合計fl2353.gr8.d12.			
合計fl2353.gr8.d12.								

Cassa barschafft lot habi	Adi 2 Nouembrio	für	Stempel	Dominick	acc	17 fl	—	28 fl	5 gr	228 —															
12 Ditto	für	Christoff	Schöner	—	acc	3 fl	—	250 fl	5 gr	228 —															
20 Ditto	für	Philip	Waltreid	—	acc	5 fl	—	137 fl	5 gr	78 —															
Adi 2	Decembrio	für	Henrich	Commer	acc	4 fl	—	379 fl	5 gr	78 —															
13 Ditto	für	Georg	Wältradi	—	acc	18 fl	—	156 fl	5 gr	— 8 —															
20 Ditto	für	Sobeln	—	—	acc	18 fl	—	145 fl	5 gr	— 38 1/2															
30 Ditto	für	Wnkost	—	—	acc	18 fl	—	399 fl	5 gr	— 68 —															
— Ditto	für	sich	selber	hin	für	trage	z	ub	sch	lie	ffen	bis	Duch	h	ab	er	ver	han	den	acc	19 fl	—	599 fl	5 gr	288 1/2
Summa 2353. 8' 12.																									

図 7

元帳 資本金勘定

丁数 2

神に感謝 1569年 ダンツィヒ									
私, Cristoff Vnuerdorbenの資本金は借方。4月1日。貸方 Heinrich Sommer。元丁4	fl 419	gr —	d —		私, Cristoff Vnuerdorbenは貸方。4月1日。借方 現金。元丁1	fl 3360	gr —	d —	
同月同日。貸方 Nicolaus Stryl。元丁4	fl 400	gr —	d —		同月同日。借方 ルンド産の毛織物。元丁2	fl 1072	gr 15	d —	
同月同日。貸方 Lucas Strobel。元丁4	fl 315	gr 25	d —		同月同日。借方 ライ麦。元丁2	fl 594	gr —	d —	
12月30日。貸方これ自体。この帳簿を締切るために、ここから振替。資本金を保有。元丁19	fl 7917	gr 19	d 6		同月同日。借方 食塩。元丁3	fl 544	gr —	d —	
合計#9052.gr14.d6.					同月同日。借方 Hans Hofer。元丁3	fl 498	gr 15	d —	
					同月同日。借方 Heinrich Lufft。元丁3	fl 388	gr —	d —	
					6月10日。貸方 Rudolf Thonnの遺産。元丁9	fl 370	gr 22	d 9	

(右頁へ続く)

2

Laus Dec. 1569. in Danzig.

Capital oder Heubtau man Cristoff Vnuerdorbens sol Abi 1 April								
An Heinrich Sommer	—	—	—	acp	4	fl-419	gr —	d —
— Ditto An Nicolaus Stryl	—	—	—	acp	4	fl-400	gr —	d —
— Ditto An Lucas Strobel	—	—	—	acp	4	fl-315	gr 25	d —
Abi 30 Dec mbris An sich selber hinfür getragen zu beschließen die Buch/ Hauptgut vorhanden	—	—	—	acp	19	fl 7917	gr 19	d 6
Summa 9052. 14. 6.								

(左頁から続く)

			12月30日。借方 損益。私は当期に 利益を得ている。	fl 560	gr —	d —
		元丁 6		fl 1664	gr 21	d 15
			合計fl9052.gr14.d6.			

Laus Dec. 1569. in Danzig.						2	
Capital oder Hauptgut mein Christoff Wuerdorns sol haben Adi 1							
April für Cassa	—	—	—	acc	1 fl	3360 gr	— 8 —
— Ditto für Lundsich tuch	—	—	—	acc	2 fl	1072 gr	15 8 —
— Ditto für Noaen	—	—	—	acc	2 fl	594 gr	— 8 —
— Ditto für Sals	—	—	—	acc	3 fl	544 gr	— 8 —
— Ditto für Hans Hofe	—	—	—	acc	3 fl	498 gr	15 8 —
— Ditto für Christoff Schönauer	—	—	—	acc	3 fl	388 gr	— 8 —
— Ditto für Henrich Lufft	—	—	—	acc	3 fl	370 gr	22 8-9
Adi 10 Junij für Adolff Thonnes Erben	—	—	—	acc	9 fl	560 gr	— 8 —
Adi 30 Decembris für Gewin vnd Verlust / das ich die zeit vber ge- wonn hab	—	—	—	acc	6 fl	1664 gr	218 15
Summa 9052. 14. 6.							

(左頁から続く)

鯡。20 $\frac{1}{4}$ ラスト， 単価fl23 $\frac{1}{3}$ 。					11月2日。借方 これ自体。ここか ら振替。売残りは 22ラスト15シェツ フェル，取得原価。			
元丁5	fl 472	gr 15	d —					
8月9日。貸方 Hans Hofer。12ラ スト，単価fl25 $\frac{2}{3}$ 。								
元丁3	fl 308	gr —	d —		元丁17	fl 543	gr 18	d —
11月2日。貸方 損 益。これで利益を 得ている。元丁6	fl 213	gr 10	d 9		合計fl3013.gr23.d9.			
合計fl3013.gr23.d9.								

*商品が完売されずに、期中棚卸によって、利益が計算される事例

*帳簿の余白がないので、商品残高は新しい帳簿、丁数17に振替。

*仕入商品の重量は114 $\frac{1}{4}$ L (=24L+18L+40L+20 $\frac{1}{4}$ L+12L)。売上商品の重量は94L (=7L+17L+40L+28L)。したがって、帳簿棚卸によって計算すると、繰越商品の重量は20 $\frac{1}{4}$ L。1 Lastは60Schffelとして計算すると、20L.15S。これに対して、繰越商品の重量は22L.15S.と記録される。

Nezzel sel haben	Adi 6 April für Heinrich Lufft 7 Last ob dem speicher				
	im dem die Last aff 2 6 $\frac{2}{3}$ / thut	—	—	acc	3 fl—187 gr—789
	— Ditto für Bartholomäus Weyer 17 Last ob dem Loren spue				
	cher die Last aff 27 / thut	—	—	acc	5 fl—459 gr—8—
	Adi 26 Junij für Nesh an Andorff 40 Last/ kosten	—	—	acc	10 fl 10 11 gr 288—
	Adi 15 Julij für Salz 28 Last aff 29 / thut	—	—	acc	3 fl—793 gr 108—
	— Ditto für Cassa	—	—	acc	1 fl—185 gr 208—
	Adi 2 Nouembris für sich selber hin für getragen Vuerkaufft 22 Last				
	15 Schffel kosten	—	—	acc	17 fl—543 gr 188—
	Summa 3013. 23. 9.				
	E iij				

丁数17

ライ麦は借方。 11月2日。貸方 これ自体。ここに 振替。売残りは22 ラスト15シェツフ エル、取得原価。 元丁2	fl	543	gr	18	d	—
12月30日。貸方 損益。元丁6	fl	4	gr	21	d	4
合計fl548.gr9.d4.						
ライ麦は貸方。 12月17日。借方 Martin Klein。3ラ スト、単価fl25。 元丁18	fl	78	gr	—	d	—
12月30日。借方 これ自体。この計 算を締切のために、 ここから振替。19 ラスト15シェツフ エル。これを記録。 元丁19	fl	470	gr	9	d	4
合計fl548.gr9.d4.						

* 商品が完売されずに、期末棚卸によって、利益が計算される事例。

* 仕入商品の重量は22L.15S。売上商品の重量は3L。したがって、帳簿棚卸によって計算すると繰越商品の重量は19L.15S。これに対して、繰越商品の重量は19L.15S.と記録される。

Neuaen sol. Aeri 2 Neuaensris An sich selber herfür getragen vnuere	
lauffe 22 laff 15 (s) kost — — — — — acp	2 fl — 543 gr 18 d —
Aeri 30 Decembis An Gewin vnd Verlust — — — — — acp	6 fl — 470 gr 9 d 4
Summa 548. 9. 4.	

Roggen sol haben	Adi 17 Decembris	Für Martin Klein 3 Last aR	20/			
thut			acq	18 R	— 78 gr	— 8 — 4
Adi 30 Decembris	Für sich selber	hinfür getragen	zubeschließen diese			
Rechnung	19 Last 15 Scheffel	schraube alhie	darfür	— acq	19 R	— 470 gr — 98 — 8
Summa				548.	9.	4.

丁数 5

神に感謝 1569年 ダンツイヒ 鯡は借方。4月5 日。貸方 Simon Rewalt。12ラスト、 単価fl57。丁数 5	fl 684	gr —	d —	鯡は貸方。4月6 日。借方 Paul Holtz。 4ラスト6トンネン、 単価fl66。丁数 5	fl 297	gr —	d —
12月30日。貸方 損益。これで利益 を得ている。 丁数 6	fl 85	gr 15	d —	7月15日。借方 ライ麦。7ラスト 6トンネン、単価 fl63。丁数 2	fl 472	gr 15	d —
合計fl769.gr15.				合計fl769.gr15.			

* 商品が完売されて、利益が計算される事例。

* 1 Lastは12Tonnenとして計算すると、仕入商品の重量は12L。売上商品の重量は12L。(= 4 L. 6 T.+ 7 L. 6 T.)。

5

Laus Dec. 1569. in Danzig.

Hering solt Adi 5 April An Simon Rewalt 12 Last Tirkel die Last aff 5 7/1hut	acc	5 fl-684 gr — s —
Adi 30 Decembris/ An Gewin vnd Verluft/daran gewonnen	acc	6 fl — 85 gr 15 s —
Summa 769. 15. —		

Laus Dec. 1569. in Danzig.					
Drucksel haben An 6 April Jahr Paul Holz 4 Last 6 stöcklin Erbsch.					
In Laus 6 6 7 1/2	—	—	—	—	5 R-107 3/4 — 2 —
An 17 Jahr Jahr Roggi 7 Last 6 stöcklin Erbsch die Last 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2					2 R-47 1/2 1/2 1/2 —
Summa 7 69. 1/2. —					

丁数11

小麦は借方。7月17日。貸方 Reinhold Thumwaldt。20ラスト, 単価fl 33 $\frac{1}{2}$ 。元丁12	fl 670	gr	—	d	—	小麦は貸方。8月5日。借方 Francis Banawer。48ラスト, 諸掛り経費を含む取得原価。元丁12	fl 1616	gr	—	d	—
7月26日。貸方先物売買。48ラスト, 単価fl 33。元丁7	fl 1584	gr	—	d	—	11月12日。借方先物売買。23ラスト, 落札単価fl 31。元丁7	fl 713	gr	—	d	—
8月5日。貸方現金。48ラストの諸掛り経費を支払う。元丁1	fl 32	gr	—	d	—	同月同日。借方現金。19ラスト54シエツフェル, 入札単価fl 33。6シエツフェルの目方不足を発見。元丁17	fl 656	gr	21	d	—
11月2日。貸方 Stentzel Dommick。41 $\frac{1}{2}$ ラスト, 単価32 $\frac{1}{2}$ 。元丁17	fl 1348	gr	22	d	9	12月30日。借方これ自体。この計算を締切のために, ここから振替。18 $\frac{1}{2}$ ラスト, 単価fl 32 $\frac{1}{2}$ 。元丁19	fl 601	gr	7	d	9
合計fl 3634. gr 22. d 9.						同月同日。借方損益。これで損失を被っている。元丁6	fl 47	gr	24	d	—
						合計fl 3634. gr 22. d 9.					

(右頁へ続く)

Wanzel Ad 17 Julij An Reinhold Thumwaldt 20 Last aff 33 $\frac{1}{2}$ /										
thut — — — — — — — — — —	acp	12	fl	—	670	gr	—	d	—	8
25 Ditto An Leferna 48 Last aff 33 thut — — — — — — — — — —	acp	7	fl	—	1584	gr	—	d	—	8
Ad 5 Augusti An Cassa Dngelt auff 48 Last galt — — — — — — — — — —	acp	1	fl	—	32	gr	—	d	—	8
Ad 2 Nouembri An Stentzel Dommick 41 $\frac{1}{2}$ Last aff 32 $\frac{1}{2}$ /thut acp 17	fl	1348	gr	22	d	9				
Summa 3634. 22. 9.										

(左頁から続く)

- *商品が完売されずに、期末棚卸によって、損失が計算される事例。
- *仕入商品の重量は $109\frac{1}{2}L$. (=20L.+48L.+41 $\frac{1}{2}L$.)。1 Lastは60Schffelとして計算すると、109L.30S.。売上商品の重量は90L.54S. (=48L.+23L.+19L.54S.)。したがって、帳簿棚卸によって計算すると、繰越商品の重量は18L.36S.。これに対して、繰越商品の重量は $18\frac{1}{2}L$.、したがって、18L.30S.と記録されて、重量不足、したがって、「目方不足」は6S.。

Wie sol haben Adi 5 Augusti Für Franciscus Danawer 48 Last/ koffet mit allem Angelt	—	—	—	—	acp	12	fl	1	61	6	gr	—	8	—	
Adi 12 Nouembri Für Lieferung / 23 Last des dritten preis aff 31/ thut	—	—	—	—	acp	7	fl	—	7	13	gr	—	8	—	
— Ditto Für Cassa 19 Last 5 4 Schffel des ersten preis aff 33/ vnd habe befunden 6 schffel untermas / thut	—	—	—	—	acp	17	fl	—	6	5	6	gr	2	18	—
Adi 30 Dec mbri Für sich selber hinfür getragen zu beschliessen dieß Duch / 18 $\frac{1}{2}$ Last aff 32 $\frac{1}{2}$ / thut	—	—	—	—	acp	19	fl	—	6	0	1	gr	—	78	9
— Ditto Für Gewinn vnd Verlust/ daran Verloren	—	—	—	—	acp	6	fl	—	4	7	gr	—	24	8	—
Summa 3634. 22. 9.															

図 9

				同月同日。借方 琥 珀。 元丁 8	fl	87	gr 15	d —
				同月同日。借方 胡 椒。 元丁 9	fl	155	gr 7	d 5
				同月同日。借方 瀝 青。 元丁 9	fl	72	gr —	d —
				同月同日。借方 家 賃。 元丁 10	fl	62	gr —	d —
				同月同日。借方 木 灰。 元丁 11	fl	40	gr —	d —
				同月同日。借方 冒 険貸借。 元丁 13	fl	3	gr 20	d —
				同月同日。借方 冒 険売買。 元丁 14	fl	104	gr 24	d 17
				同月同日。借方 オ ーク材の丸太。 元丁 16	fl	52	gr —	d —
				同月同日。借方 ラ イ麦。 元丁 17	fl	4	gr 21	d 4
				合計	fl	2594	gr 28	

* 同月 29 日（貸方）は、12 月 29 日の誤植。

* 12 月 29 日（貸方）は、11 月 29 日の誤植。したがって、転記順序の誤植。

6

Laus Dec. 1569. in Danzig.

Gewinn und verlust solt Adi 6 April An Cassa	—	—	—	accp	1	R	—	24	gr	158	—
26 Ditto An Anthonium Lach	—	—	—	—	accp	4	R	—	30	gr	—
Adi 19 Maij An Henrich Luffe	—	—	—	—	accp	3	R	—	14	gr	228-9
24 Ditto An Cassa	—	—	—	—	accp	1	R	—	10	gr	—
Adi 16 Junij An Cassa	—	—	—	—	accp	1	R	—	—	gr	—
Adi 17 August An Boddemerey	—	—	—	—	accp	13	R	—	16	gr	158
19 Ditto An Boddemerey	—	—	—	—	accp	13	R	—	282	gr	108
— Ditto An Franciscum Vanawer	—	—	—	—	accp	12	R	—	65	gr	108-9
Adi 2 November An Stensel Dominick	—	—	—	—	accp	17	R	—	15	gr	—
Adi 30 December An W. ppen	—	—	—	—	accp	11	R	—	47	gr	248
— Ditto An Wechsel	—	—	—	—	accp	16	R	—	—	gr	148
— Ditto An vnfost nichterley vngelt außgegeben vermüge meins vngelt vñchleins / ist die summa	—	—	—	—	accp	18	R	—	399	gr	68-3
— Ditto An Capital/befinde ich / das ich mit meinem handel die zeit her gewonnen habe	—	—	—	—	accp	2	R	1664	gr	21815	—

Summa 2594. 28. —

Laus Dec. 1569. in Danzig.

6

Verat vnd Verlust sol haben	Abi 6 April Für Cassa	—	acp	1 R	— 40 gr	— 8 —
19 Ditto Für Hans Hofer	—	—	acp	3 R	— 14 gr	— 48 —
Abi 19 Mai Für Lucas Strobel	—	—	acp	4 R	— 15 gr	258 —
24 Ditto Für Cassa	—	—	acp	1 R	— 6 gr	158 —
Abi 4 Junij Für Christoff Schönauer	—	—	acp	3 R	— 15 gr	— 8 —
29 Ditto Für Wechselbank zu Lübeck	—	—	acp	11 R	— 39 gr	188 —
Abi 17 August Für Boddemeren	—	—	acp	13 R	— 22 gr	— 8 —
30 Ditto Für Glück vnd Unglück	—	—	acp	14 R	— 180 gr	— 8 —
Abi 30 Septembris Für Achatius Stellrade	—	—	acp	12 R	— 197 gr	— 58 —
Abi 2 Nouembris Für Roggen	—	—	acp	2 R	— 213 gr	108-9
8 Ditto Für Simon Dreyer	—	—	acp	18 R	— 8 gr	— 8 —
29 Ditto Für Hans Sommermarkt	—	—	acp	10 R	— 302 gr	2289
Abi 29 Decembris Für Dietrich Kolberg	—	—	acp	12 R	— 183 gr	2589
30 Ditto Für Lundsich Tuch	—	—	acp	2 R	— 415 gr	— 48 1
— Ditto Für Salt	—	—	acp	3 R	— 274 gr	— 58 —
— Ditto Für Hering	—	—	acp	5 R	— 85 gr	158 —
— Ditto Für Hornstein	—	—	acp	8 R	— 87 gr	158 —
— Ditto Für Pfeffer	—	—	acp	9 R	— 155 gr	— 78 5
— Ditto Für Pech	—	—	acp	9 R	— 72 gr	— 8 —
— Ditto Für Haußzins	—	—	acp	10 R	— 62 gr	— 8 —
— Ditto Für Aschen	—	—	acp	11 R	— 40 gr	— 8 —
— Ditto Für Boddemeren	—	—	acp	13 R	— 35 gr	208 —
— Ditto Für Glück vnd Unglück	—	—	acp	14 R	— 104 gr	248 17
— Ditto Für Wagenschos	—	—	acp	16 R	— 52 gr	— 8 —
— Ditto Für Roggen	—	—	acp	17 R	— 45 gr	218 4

Summa 2594. 28. —.

図10